

日時 令和6年5月3日(金・祝日)

午前9時00分開会

会場 講道館

主催 特定非営利活動法人(NPO)

全日本柔道普及会

第四十八回 柔道まつり大会

大会次第

- 一、選手集合
- 一、開会宣言
- 一、国家吹奏
- 一、会長挨拶
- 一、来賓挨拶
- 一、優勝旗、優勝杯返還
- 一、試合上の注意
- 一、選手宣誓
- 一、試合
- 一、表彰
- 一、閉会宣言

スポーツくじ



目 次

1	協賛者様・御礼 全日本柔道普及会役員一覧	P. 3~6
2		
3	講道館使用上の注意	P. 7
4	第48回 柔道まつり大会 役員	P. 8
5	大会要項	P. 9~12
6	道場対抗 青年の部 組み合わせ	P. 13
7	道場対抗 少年の部 組み合わせ	P. 14
8	小1 男女	P. 15
9	少年少女学年別試合組み合わせ	小2 女子 男子軽 男子重 P. 16~18
10		小3 女子 男子軽 男子重 P. 19~21
11		小4 女子 男子軽 男子重 P. 22~24
12		小5 女子 男子軽 男子重 P. 25~27
13		小6 女子 男子軽 男子重 P. 28~30
14		中学女子 P. 31
15		中1男 軽量 重量 P. 32~33
16		中2男 P. 34
17		中3男 P. 35
18	一般女子	P. 36
19	試合進行表	P. 37
20	参加道場一覧	P. 38
21	第47回 成績表	P. 39
22	「少年大会特別規定」(2024年4月1日から施行)	P. 40~41
23	柔道界から暴力パワハラ・モラハラをなくそう	P. 42~47

協 賛 者 様

ご芳名	所在地	連絡先
横浜医療専門学校	神奈川県横浜市神奈川区金港町9-12	0 4 5 - 4 4 0 - 1 7 5 0
船宿・屋形船 辰金	東京都港区芝 1 - 1 - 1	0 3 - 3 4 5 1 - 0 7 0 3
菅田町土田整形外科	神奈川県横浜市神奈川区菅田町 1 8 2 2 - 2	0 4 5 - 4 7 2 - 2 7 2 7
コトブキ歯科 立花 寿人	埼玉県越谷市大沢3-13-20 コトブキビル1階	0 4 8 - 9 7 1 - 3 7 4 8
ほんくげ接骨院	神奈川県藤沢市本鵜沼 4 丁目 7 - 9	0 9 0 - 3 0 4 1 - 0 4 2 4
ひがしざわ接骨院 東澤 武彦	神奈川県藤沢市善行 2 - 2 4 - 3 1	0 4 6 6 - 8 1 - 2 0 6 2
株式会社石井トロフィー	東京都荒川区東日暮里 5 - 2 5 - 7	0 3 - 3 8 0 7 - 8 5 4 1
株式会社湘南霊枢	神奈川県茅ヶ崎市松浪一丁目 1 0 番 3 号	0 4 6 7 - 9 1 - 0 0 7 6
押田接骨院	東京都品川区小山 2 丁目 8 - 1 3	0 3 - 3 7 8 7 - 8 0 3 6
いしかわ接骨院 楓 博人	神奈川県藤沢市石川 1 丁目 1 - 2 0 S Cビル 3F	0 9 0 - 5 5 0 9 - 4 2 4 2
斉藤接骨院 斉藤 勝紀	神奈川県横浜市戸塚区品濃町 5 1 5 - 1 - 3 - 1 0 5	0 9 0 - 2 2 5 0 - 9 6 1 3

品川区柔道会 東京都品川区大井4-2-4-803	090-3237-6392
株式会社テン十字グループ 代表取締役 小杉幸博 東京都葛飾区青戸1-12-2	03-5680-1871
有限会社くーぼーる 村山洋介 神奈川県藤沢市本藤沢1-10-11	090-9685-1602
順道館 長瀬道場 神奈川県横須賀市不入斗町3丁目16	0468-22-6524
目黒区柔道連盟 会長 市島大二郎 東京都目黒区目黒本町5-9-7	03-3714-2259
仙台接骨医療専門学校 東北柔専OB会東京支部 神奈川藤沢市善行2-24-31	0466-81-2062
道友会 東京都文京区春日1-16-30講道館内	03-3818-4264
東日本柔道交流会 会長 菅谷俊雄 新潟県新潟市南区能登2-6-2	025-372-4690
江東区柔道会 東京都江東区東砂1-3-17-501	090-5793-2464
講道館高段者会 東京都文京区春日1-16-30	03-3337-5682

菅谷 俊雄	一心館菅谷道場 茨城県鹿島市下津 1 5 3 - 1 1	0 9 0 - 1 2 0 0 - 2 2 5 0
田代 学	一道館田代道場 東京都八王子市北野町 5 3 9 - 2	0 4 2 - 6 4 2 - 8 9 2 2
公益財団法人河野臨牀医学研究所	東京都品川区北品川 1 - 2 8 - 1 5	0 3 - 6 4 3 3 - 3 2 7 2
株式会社 稜線	東京都品川区豊町 2 - 2 7 - 8	0 3 - 3 7 8 1 - 4 4 5 0
明武館柔道クラブ	東京都品川区豊町 2 - 2 7 - 8	0 3 - 3 7 8 1 - 4 4 5 0
大江 裕一郎	国立がん研究センター-中央病院 東京都中央区築地 5 - 1 - 1	0 8 0 - 2 0 7 9 - 4 9 0 0
倉部 豪	多摩川柔道クラブ 東京都調布市染地 1 - 2 4 - 1 8	0 9 0 - 3 4 7 2 - 9 9 0 0
野呂 允伸	戸田市柔道会 埼玉県川口市上青木 6 - 3 3 - 2 0	0 4 8 - 2 6 6 - 7 5 5 5
市島 大二郎	向原柔道クラブ 東京都目黒区原町 1 - 1 0 - 1 2 グランドメゾン武蔵小山 4 0 6	0 9 0 - 2 4 2 2 - 7 1 5 2
杉崎 彰彦	明倫館杉崎道場 千葉県八街市大木 6 7 0 - 1 4 9	0 9 0 - 7 2 2 7 - 9 1 5 5
山口 正	瑞江柔友会 東京都江戸川区西瑞江 4 - 1 6	0 3 - 3 6 5 1 - 9 3 0 1

鈴木 義夫
河野 文彦
川島 芳江

鈴木 晴美
近藤 眞雪

河野 暎子
中島 大二

御 礼 皆様のご支援ご協力に感謝申し上げます

特定非営利活動法人
全日本柔道普及会

理 事 長	梅津 勝子				
副 理 事 長	大川 真一郎	外川 朗	河野 文彦	小林 速人	
専 務 理 事	東澤 武彦				
常 務 理 事	押田 康行	平澤 武夫			
常 任 理 事	吉田 康行	佐藤 光男	渡辺 啓友	小塚 義隆	
	近藤 眞雪	藤嶋 巧鮮	猪田 裕昭		
理 事	峯尾 昂明	菅谷 俊雄	白鳥 学	小松 登	
	郷野 正臣	小野 博道	斉藤 勝紀	後藤 竜二	
	石田 雅明	内海 まゆみ	須賀 剛	小濱 太郎	
	近内 圭太郎	山岸 和重	玉川 進	住田 治高	
	三輪 智久				
監 事	清水 昌良	小林 晴男			
常任相談役	河野 暎子				

事 務 局 〒116-0014
東京都荒川区東日暮里5-39-12ソーケン日暮里101
事務局長：大川 真一郎 携帯：090-4662-0555

講道館使用上の注意

・ 今大会はカラー柔道着採用の大会ではございませんので白(クリーム色)柔道着での参加をお願いします。また、講道館での稽古に際しても白(クリーム色)柔道着となっておりますのでご承知おきください。

・ 講道館での移動の際、裸足(はだし)で歩くところ、靴(くつ)を履いて歩くところの区別をきちんとしてください。

※ 靴は脱いたら各自で用意した袋(大会参加賞)に入れて持ち歩くなどし、自己管理を徹底すること。

・ 大会終了後、忘れ物が大変多くなっているので、注意してください。

講 道 館

特定非営利活動法人 全日本柔道普及会

第48回 柔道まつり大会 役員

大会顧問	横山 孝	石原宏高	大山愿太	鈴木むつ子	清水勝一	大山廉平	永井昭次
	大輪小次	桜井敦子	川崎喜一郎	河野暎子			
大会会長	梅津勝子						
大会副会長	外川 朗	河野文彦	大川真一郎	小林速人			
大会委員長	東澤武彦						
大会副委員長	押田康行	平澤武夫					
大会本部委員	佐藤光男	渡辺啓友	小塚義隆	近藤眞雪	藤嶋巧鮮	猪田裕昭	吉田康行
大会委員	菅谷俊雄	白鳥 学	小松 登	郷野正臣	小野博道	斉藤勝紀	後藤竜二
	石田雅明	内海まゆみ	須賀 剛	小濱太郎	近内圭太郎	山岸和重	峯尾昂明
	玉川 進	住田治高	三輪智久				
大会参与	小林晴男	清水昌良					
受付係	押田康行	宇佐見竜平	吉田有寿	大野修平			
会計係	大川真一郎						
式典係	外川 朗	宇佐見佳子	東澤雪子				
賞状係	三神正洋	阿部宮子	田中慎也	東澤史佳			
放送係	佐藤光男	加藤泰輔					
写真係	柳原 徹	坂根克人					
太鼓係	森下北斗						
救護係	押田康行	高橋宙征					
会場警備係	渡辺啓友	宇佐見竜平	大野修平	吉田有寿	東澤武彦	大川真一郎	山岸和重
	猪田裕昭						
試合会場係	○印は責任者						
統括責任者	藤嶋巧鮮	住田治高					
第一試合場	○ 前田城治	内海まゆみ	梅田信昭	白熊友香里	貞山 薫	鈴木利康	櫻井 忍
第二試合場	○ 木島大樹	内堀紘徳	稲垣智也	内藤純子	平瀬恵理子	高橋幸男	櫻井千恵子
第三試合場	○ 大森直樹	安田貴浩	櫻井正之	大西宏治	星 國昭	持溝啓太	星 國誉
第四試合場	○ 小倉 茂	篠原季帆	仁平美由姫	角田希代美	渡辺正樹	奥野賢一郎	白鳥 学
審判員	○印は責任者						
審判長	河野文彦						
第一試合場	○ 小林速人	三輪智久	森下北斗	吉田唯人	太田竜聖	新田賢司	柰康次郎
第二試合場	○ 小塚義隆	市村朋彦	辻 湧斗	浅利昌哉	芝 明朗	須賀 剛	飯島俊佑
第三試合場	○ 平澤武夫	仁平正洋	佐藤 城	湯本祥真	砂田勇登	小林大介	尾方寿應
第四試合場	○ 庄司武男	西原大史	高梨優也	千品洋一	中西 勉	平良隼人	本田慎平

大会要項

1. 目的

特定非営利活動法人全日本柔道普及会は、講道館柔道を愛好する者を主体に柔道を普及育成し青少年の体力向上と健全育成及び柔道精神の涵養に資し、もって社会文化の進展と国際親善に寄与することを目的とする。

2. 主催

特定非営利活動法人 全日本柔道普及会

3. 日時

5月3日（祝日）

午前8時15分開場 午前9時開会

午後5時閉会（予定）

4. 会場

講道館7階大道場

〒112-0003

東京都文京区春日1-16-30 TEL:03-3811-7151

5. 試合種目と参加資格

（1）少年少女学年別試合（個人戦）

- ①小学1・2年生の部（男女別）
- ②小学3年生の部（男女別）
- ③小学4年生の部（男女別）
- ④小学5年生の部（男女別）
- ⑤小学6年生の部（男女別）
- ⑥中学1年生の部（男女別）
- ⑦中学2年生の部（男女別）
- ⑧中学3年生の部（男女別）

※小学生の部少年各学年は、大会事務局において参加申込書を参考にして、男女別、軽量・重量の部に区分する。

※選手全員の計量は各試合会場にて行う。その際、申告体重より3kgを超えた場合は失格とする。

※各学年は、5月3日現在の学年とする。

※同道場同士で体重の近い選手が3名以上参加する場合、初戦から対戦となる場合もある。

（2）一般女子の部（個人戦）

- ①段外者・初～参段の女性とする。中学生以下は参加できない。
- ②全柔連・指定・ジュニア・高校の強化選手は参加できない。

（3）道場対抗試合（団体戦）

少年の部・青年の部とも、1団体で2チームまで参加することができる。

①少年の部 監督・小学4・5・6年生の各1名の計4名

※該当学年者がいない場合は、下位学年で補うことができる。

※事務局において、参加チームの過去の実績を参考にして1部・2部に区分する。

※道場対抗試合と少年少女学年別試合に同一選手が重複して出場することは出来ない。

②青年の部 監督1名、選手3名（先鋒・中堅・大将 段位制限なし）、補欠1名の計5名

※毎試合ごと選手の変更可能。

※毎試合ごとにオーダー提出をする。

③少年の部・青年の部・団体戦の出場資格について

※合同チームで出場する場合は3所属以内の門人で構成する。ただし、大会委員長の許可を得ればこの限りではない。

6. 試合方法

(1) 少年少女学年別試合、道場対抗試合少年の部はトーナメント戦とする。

(2) 道場対抗試合青年の部はトーナメントまたはリーグ戦とする。

(3) 一般女子の部は、1試合のみの個人戦とする。

(4) 道場対抗試合は、原則として各チーム3人制の点取り対抗戦とし、勝ち数の多いチームを勝ちとする。勝ち数が同等の場合は内容によるものとし、内容も同じ場合は代表戦を行う。

7. 審判規程

(1) 国際柔道連盟試合審判規程・国内における「少年大会特別規程」によって行う。

(2) 試合時間は、中学生以下並びに女子は2分とする。道場対抗試合青年の部は3分とする。

(3) 優勢勝ちの判定基準

①「技あり」「指導の差2」「僅差」、抑え込みは20秒で「一本」10秒「技あり」とする。

②時間内に勝敗がつかない場合は、判定とする。「団体戦は引き分けあり」

③団体戦で同点の場合は、引き分けをした選手同士で代表戦を行う。引き分けが複数の場合は任意で選出し、決着がつかない場合は判定とする。

8. 表彰

下記の通り、表彰する。

(1) 少年少女学年別試合（軽量級・重量級）の各優勝から第3位（2名）迄

(2) 道場対抗試合少年の部（1部・2部）、各優勝から第3位（2チーム）迄

(3) 一般女子の部で一本勝ちした選手

ただし、勝ちが無い場合（不戦勝を除く）は、表彰されない。

9. 参加申込

(1) 申込締切 3月15日23時59分

(2) 申込方法 全日本柔道普及会の HP からパソコンによる申し込みのみ。参加費は各道場でとりまとめて、申し込み時に一括して下記に振り込む。

■振込先■

三菱 UFJ 銀行 品川駅前支店 (普通) 1698113

特定非営利活動法人 全日本柔道普及会

(3) 参加費用 選手一人について

一般の部・道場対抗青年の部出場者 2500円 (ただし高校生は2000円)

中学生以下 2000円

(4) 申込先 特定非営利活動法人 全日本柔道普及会第47回柔道まつり事務局

10. 組み合わせ

3月下旬、大会主催者が行う。※抽選後インターネットで掲載するとともに、参加申込みに使用されたアドレスへ掲載完了のメールを配信する。

11. 保険

(1) 主催者は参加者全員に対して傷害保険の加入手続きを行い、その費用を負担する。

なお、参加選手は、大会出場にあたり事前に医師の健康診断を受けて、試合に出場するについて支障がないことを確認しておくこと。

(2) 主催者は大会中の不慮の負傷・疾病については応急処置を施すとともに、傷害保険の補償範囲内で責任を負うものとする。(通院1日につき1,500円、入院1日につき3,000円)

(3) 大会当日、出場選手は健康保険証を必ず持参すること。

12. その他

(1) 少年少女学年別試合の出場選手変更は原則として認めない。

(2) 道場対抗試合の選手変更は原則として認めない。

ただし、突発的事故(負傷、病気等)の場合は、大会前日午後3時までに事務局へ電話連絡すること。

大川事務局長 TEL090-4662-0555

当日事故等によって出場できなくなった場合は欠員のままとする。

(3) 道場対抗試合は、混成チームの参加を認めない。

(4) ゼッケン

①出場選手は、着用する柔道衣に規定の大きさのゼッケンを正しく縫い付けること。

②ゼッケンを付けていない選手は、失格とする。ただし、試合中に取れた場合は、原則として次の試合までに縫い付けること。

③サイズは、横30cm±3cm・縦22cm±3cmとし、布地は白色（晒・太綾）とする。

④書体は太いゴシック体又は明朝体で横書きとし、男子は黒色、女子は濃赤色とする。

⑤苗字（姓）は上側2／3、所属名は下側1／3 とする。所属名は原則として所属道場名とするが、所属道場名以外とする場合は通学中の学校名のみ認めるので申込書の道場名に並べて（ ）で明記して届け出ること。

⑥縫い付けの位置は、後ろ襟から10cm下部とし、周囲と対角線に強い糸で縫い付けること。

(5) 審判会議は午前8時30分から本部席前にて同時に行う。

(6) 試合会場には、選手・大会役員・道場主・監督以外は入れない。

大会役員・道場主・監督には受付で入場証を渡すので必ず携帯すること。

(7) 選手及び関係者は、道場と外部を裸足で出入りしないこと。

(8) 8階観覧席や屋上等から外部に物を投げないこと。行為者の所属団体（会員）は除名対象とするので、道場主は指導を徹底すること。

(9) 参加団体の道場旗等の設置は、道場窓側周囲のみに先着順とし、節度をもって行うこと。尚、8階観覧席手摺周囲に設置することは禁止する。

(10) お願い等

①お弁当を申し込まれた方は、空箱を所定の場所（8階エレベーター前）に午後4時までに片付けてください。それ以外はお持ち帰りください。

②会費納入のお願い（大会初参加の所属は不要）

会費を下記にお振込みください。

団体会員（道場主等）並びに本会役員10,000円、個人会員5,000円

■振込先■

三菱UFJ銀行 品川駅前支店（普通）1698113

特定非営利活動法人 全日本柔道普及会

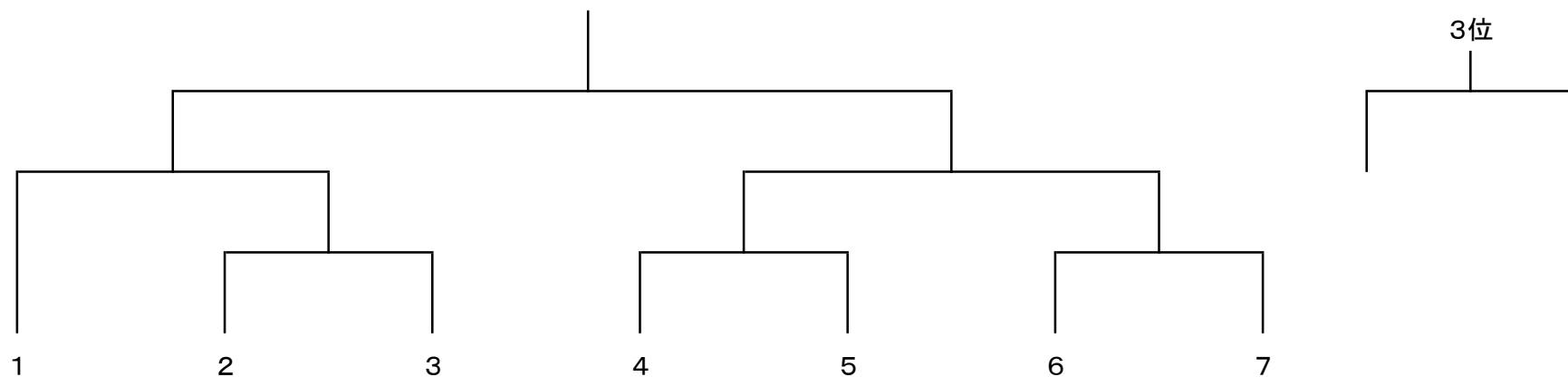
③本会に入会を希望する方がおられましたら、事務局にご連絡下さい。

(11) 個人情報、肖像権の取り扱いについて

参加申込用紙に記載された個人情報、大会中に撮影された写真、動画が大会プログラム、大会ホームページに掲載される場合があります。また、その他報道機関等により、新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合があります。提出された個人情報については、上記目的以外に使用することはありません。参加申込みにより、上記取り扱いについての承諾をいただいたものとして対応させていただきます。

以上

道場対抗試合（青年の部）



※ トーナメントのブロック(1～7)は当日抽選で決定します。

※ 準決勝敗者チームで3位決定戦を行います。

道場対抗試合（青年の部） 出場者

監督

大宮立志塾(埼玉県)	原田 靖也	磯部 昂佑(イソベ コウスケ)	鳶田 空良(シマダ ソラ)	菅野 克哉(スガノ カツヤ)	市井 天(イチイ タカシ)
堅志会(神奈川県)	沖津 大悟	塵濱 俊介(チリハマ シュンスケ)	高野 祐二(タカノ ユウジ)	志村 充信(シムラ ミツノブ)	
一道館田代道場(東京都)	田代 学	白石 諒(シライシ リョウ)	白石 諄(シライシ シュン)	白川 竜平(シラカワ リュウヘイ)	根岸 大智(ネギシ ダイチ)
遠藤道場(神奈川県)	石川 宗享	奥井 翔(オクイ ショウ)	人見 幸広(ヒトミ ユキヒロ)	村上 重朗(ムラカミ シゲアキ)	山本 大翔(ヤマモト カケル)
横浜医療専門学校(神奈川県)	小野 博道	金城 琉太(キンジョウ リュウタ)	酒巻 蔵之進(サカマキ クラノンシン)	酒巻 幸之丞(サカマキ ユキノジョウ)	
力善柔道クラブ(茨城県)	上野 英紀	竹村 彰太(タケムラ ショウタ)	新井 翔(アライ ショウ)	菊地 真登(キクチ マサト)	江原 洋樹(エハラ ヒロキ)
明倫館 杉崎道場(千葉県)	杉崎 彰彦	鎌倉 匡志(カマクラ マサシ)	岩井 裕樹(イワイ ヒロキ)	小早志 一品(コハヤシ カズアキ)	鎌倉 康成(カマクラ ヤスナリ)

道場対抗試合（少年の部）

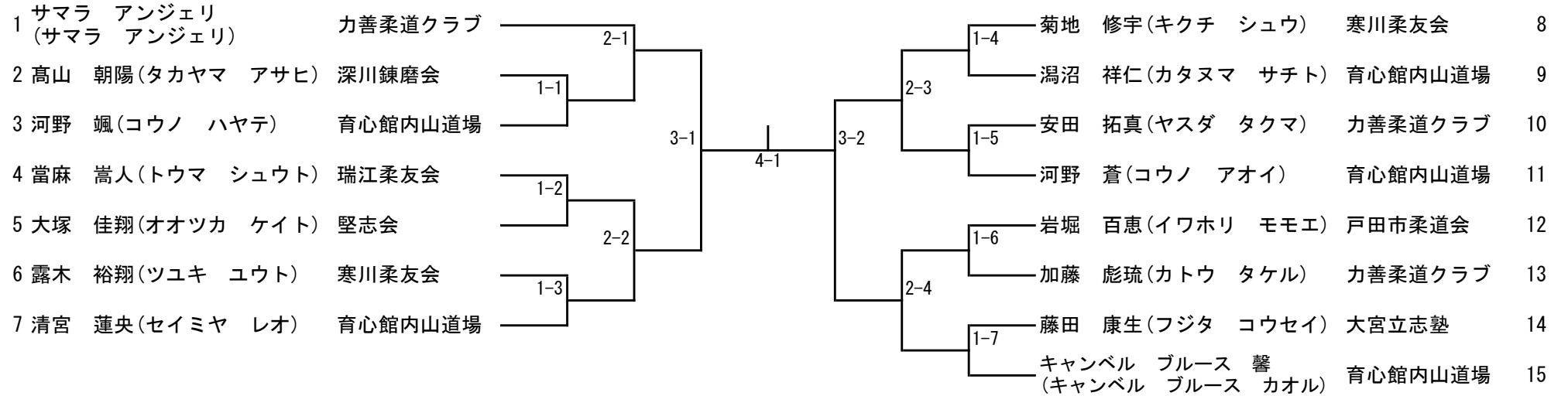
	遠藤道場 (神奈川県)	五十嵐道場 (埼玉県)	深川錬磨会 (東京都)	鎌倉柔道協会 (神奈川県)	勝敗	順位
遠藤道場 (神奈川県)					-	
五十嵐道場 (埼玉県)					-	
深川錬磨会 (東京都)					-	
鎌倉柔道協会 (神奈川県)					-	

道場対抗試合（少年の部） 出場者

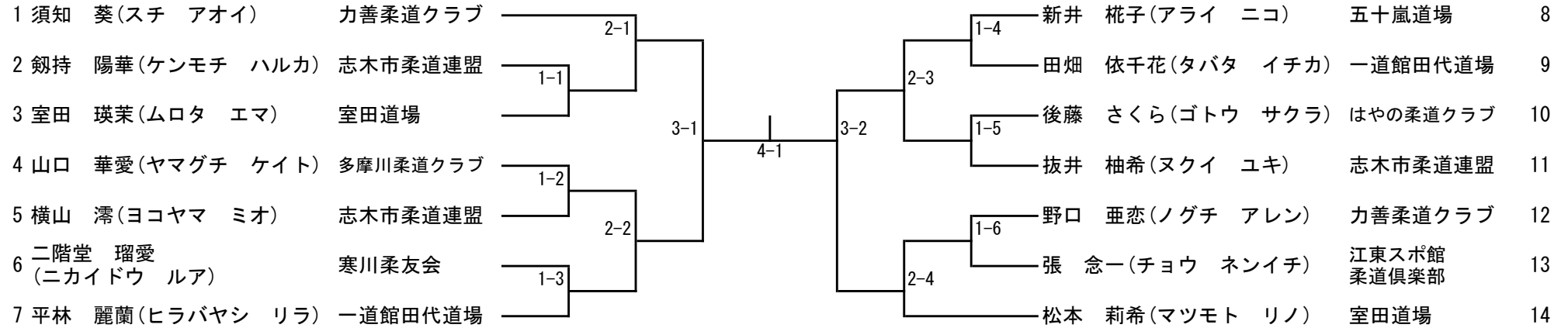
	監督	先鋒	中堅	大将
遠藤道場(神奈川県)	中村 智	谷山 善(タニヤマ ゼン)	佐藤 汰樹(サトウ タイキ)	舘野 仁之介(タテノ ジンノスケ)
五十嵐道場(埼玉県)	新井 邦啓	田邊 香澄(タナベ カスミ)	渡邊 陽太(ワタナベ ヨウタ)	田邊 春真(タナベ ハルマ)
深川錬磨会(東京都)	新堀 英男	飯田 悠太(イイダ ユウタ)	山本 晃誠(ヤマモト コウセイ)	高山 大知(タカヤマ ダイチ)
鎌倉柔道協会(神奈川県)	北山 麻里	三ツ屋 樟介(ミツヤ ショウスケ)	澁谷 充哉(シブタニ アツヤ)	松本 恵慈(マツモト ケイジ)

※ 道場対抗試合（少年の部）はリーグ戦となりました。

小学1年生の部 男女



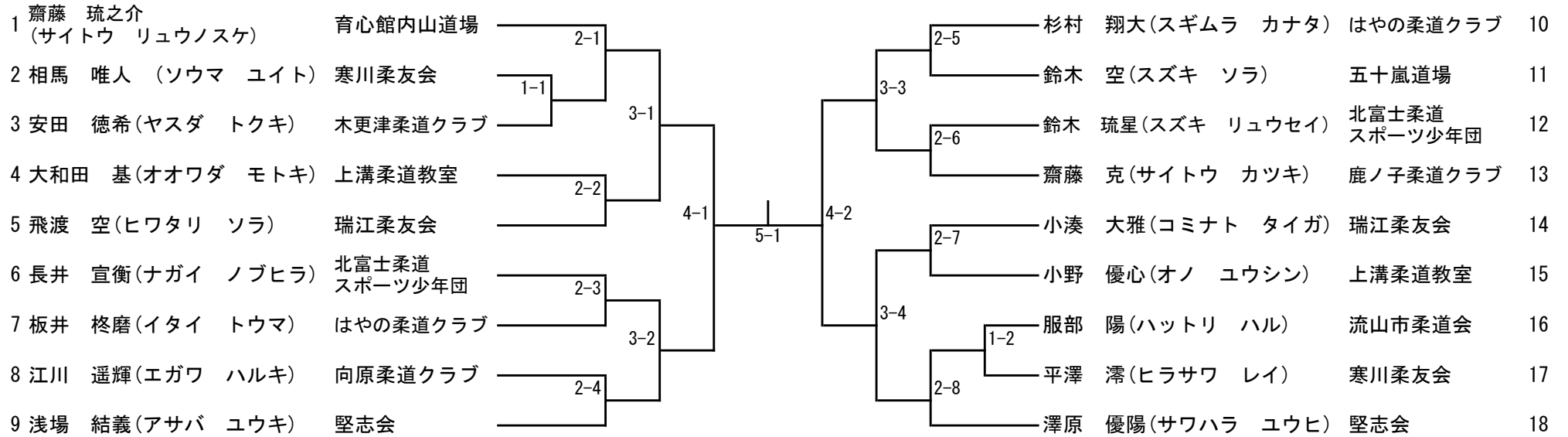
小学2年生女子の部



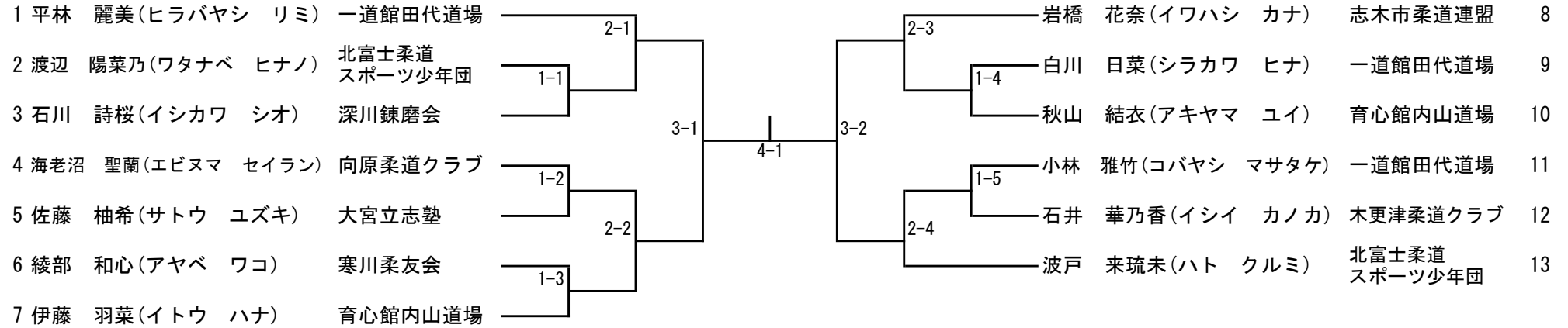
小学2年生男子軽量の部 26kg未満

1	佐々木 大成(ササキ タイセイ)	上溝柔道教室	2-1	3-1	4-1	5-1	4-2	2-5	鈴木 理仁(スズキ リヒト)	流山市柔道会	10	
2	横山 圭之助 (ヨコヤマ ケイノスケ)	紅柔道クラブ	1-1					2-6	金子 善(カネコ ゼン)	上溝柔道教室	11	
3	古田 璃空(フルタ リク)	寒川柔友会					3-3	2-6	坂本 真牙(サカマト マナト)	五十嵐道場	12	
4	新井 直義(アライ ナオヨシ)	向原柔道クラブ	2-2						高橋 昂(タカハシ コウ)	紅柔道クラブ	13	
5	塩崎 哲平(シオザキ テッペイ)	戸田市柔道会						2-7	野崎 升真(ノザキ ショウマ)	上溝柔道教室	14	
6	木下 翔三朗 (キノシタ ショウザブロウ)	五十嵐道場	2-3	3-2	4-1	5-1	4-2	3-4	2-7	上野 晃生(ウエノ コウセイ)	力善柔道クラブ	15
7	菊地 吉咲(キクチ イッサ)	寒川柔友会										
8	伊藤 蓮太郎 (イトウ レンタロウ)	育心館内山道場	2-4						2-8	金子 陽平(カネコ ヨウヘイ)	志木市柔道連盟	17
9	明利 健矢(アカリ マサヤ)	上溝柔道教室										

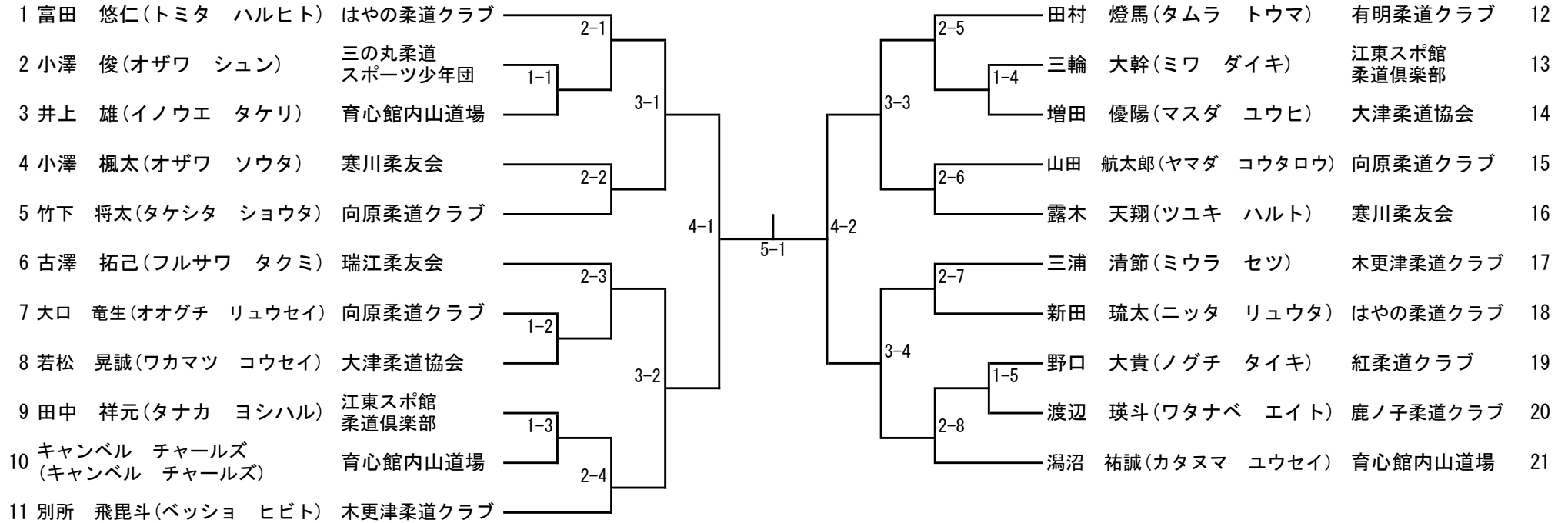
小学2年生男子重量の部 26kg以上



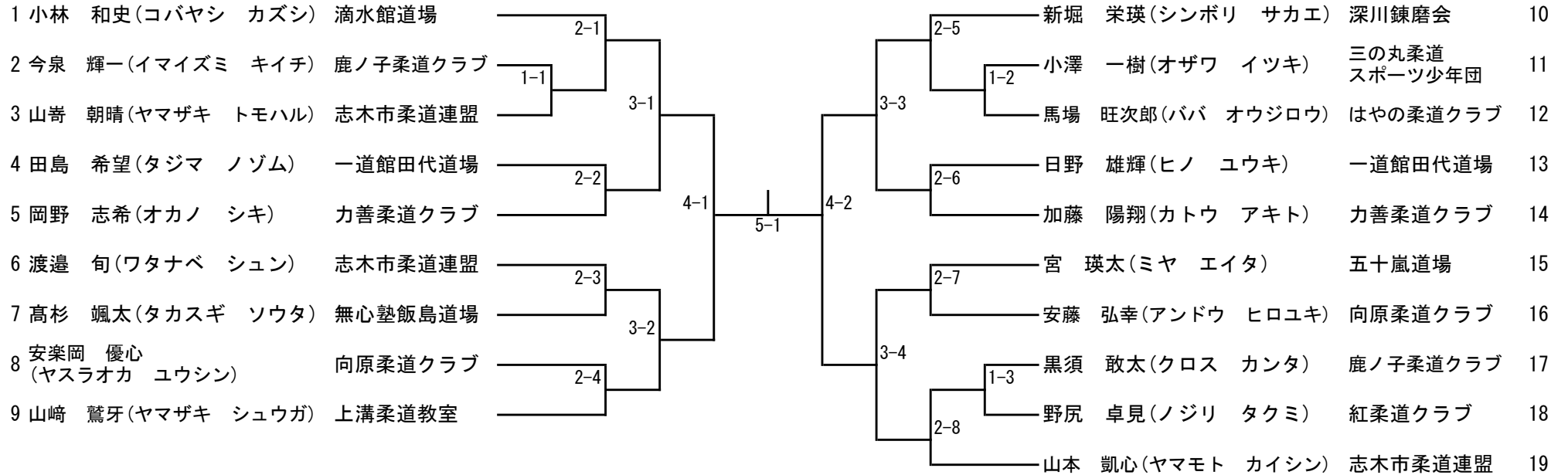
小学3年生女子の部



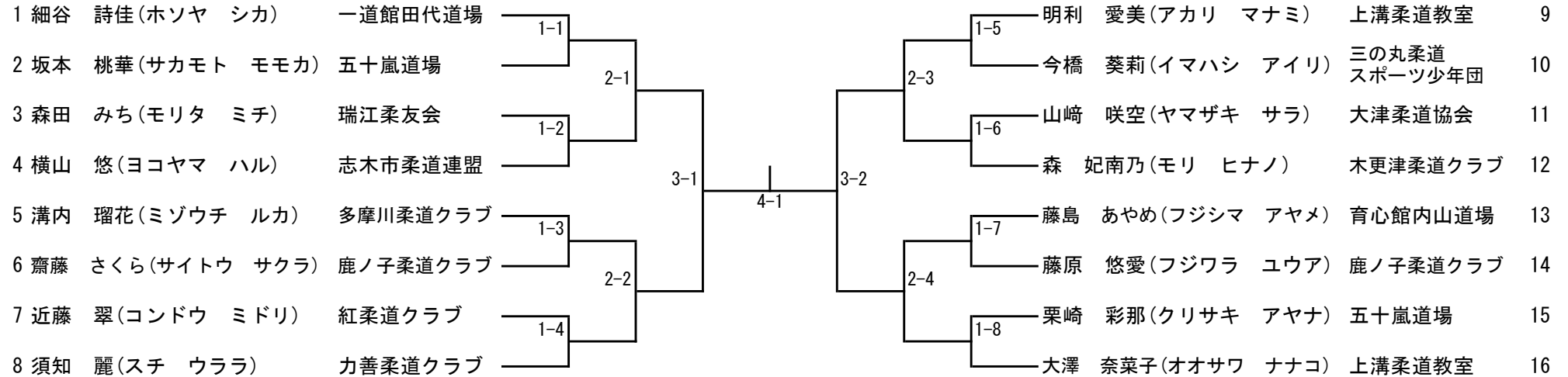
小学3年生男子軽量の部 30kg未満



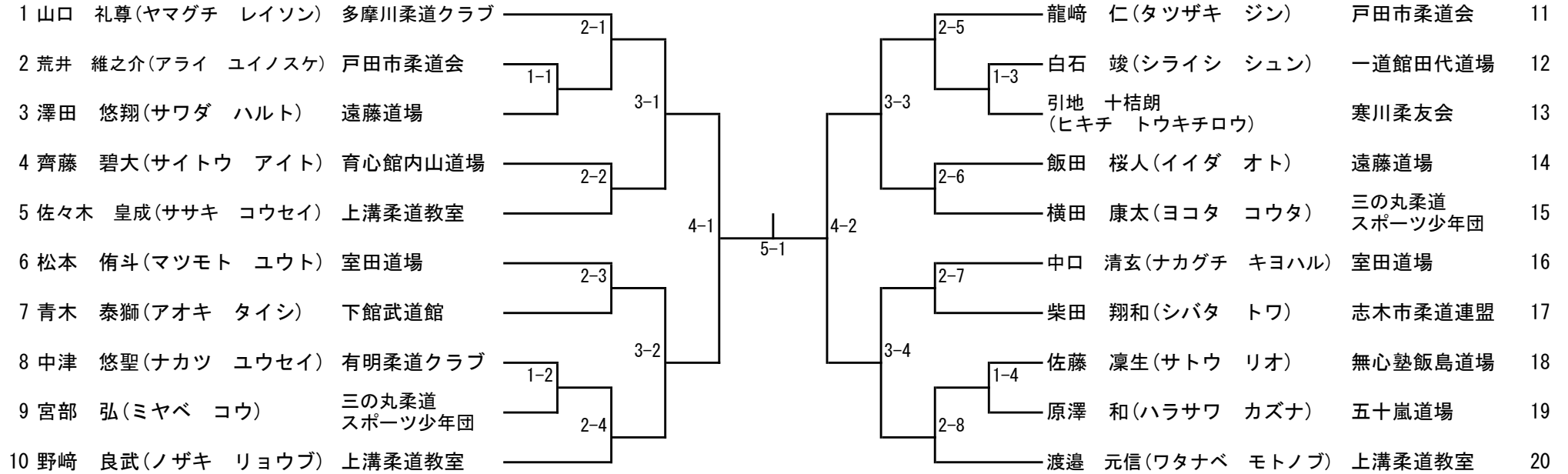
小学3年生男子重量の部 30kg以上



小学4年生女子の部



小学4年生男子軽量の部 33kg未満



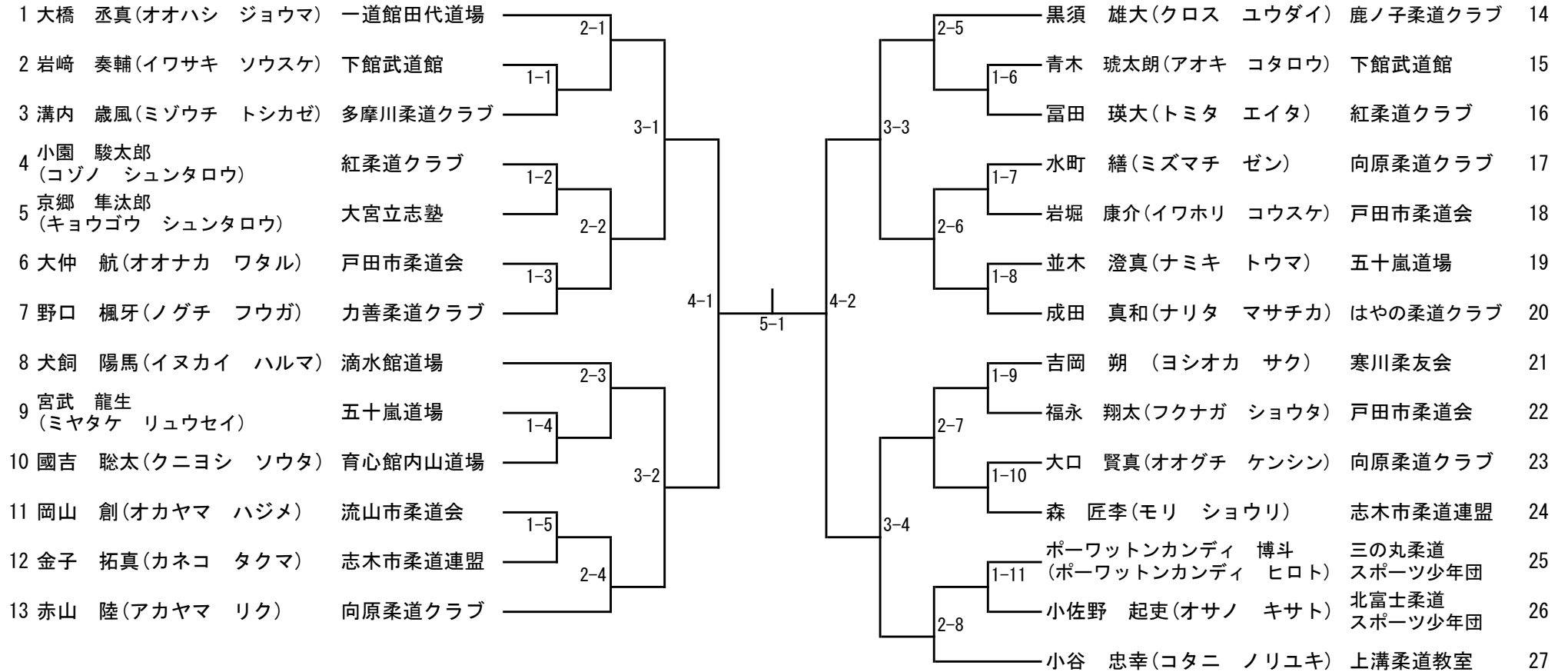
小学4年生男子重量の部 33kg以上

1	富樫 蓮斗(トガシ レント)	上溝柔道教室	2-1					岩間 陽音(イワマ ハルト)	流山市柔道会	12	
2	佐藤 蒼亮(サトウ ソウスケ)	遠藤道場	1-1					小野 和輝(オノ カズキ)	上溝柔道教室	13	
3	剣持 僚助 (ケンモチ リョウスケ)	志木市柔道連盟		3-1				石川 煌紳(イシカワ ライジン)	北富士柔道 スポーツ少年団	14	
4	室田 廉翔(ムロタ レント)	室田道場	2-2					加藤 諒晟(カトウ リョウセイ)	多摩川柔道クラブ	15	
棄権	松信 昊希(マツノブ ソラ)	有明柔道クラブ			4-1			木佐貫 陽大(キサヌキ ハルト)	堅志会	16	
6	石山 悠斗(イシヤマ ユウト)	流山市柔道会	2-3			5-1		相馬 悠人(ソウマ ハルト)	寒川柔友会	17	
7	抜井 尊(ヌクイ タケル)	志木市柔道連盟	1-2				4-2	石井 伶旺(イシイ レオ)	はやの柔道クラブ	18	
8	朝岡 稜喜(アサオカ イズキ)	寒川柔友会		3-2				和田 賢虎(ワダ ケント)	流山市柔道会	19	
9	権守 朔太郎 (ゴンモリ サクタロウ)	北富士柔道 スポーツ少年団	1-3					住谷 裕央(スミヤ ユウマ)	無心塾飯島道場	20	
10	大塚 海翔(オオツカ カイト)	堅志会	2-4				3-4	鈴木 太陽(スズキ タイヨウ)	五十嵐道場	21	
11	横山 進之助 (ヨコヤマ シンノスケ)	紅柔道クラブ						2-8	抜井 亮拓(ヌクイ アキヒロ)	志木市柔道連盟	22

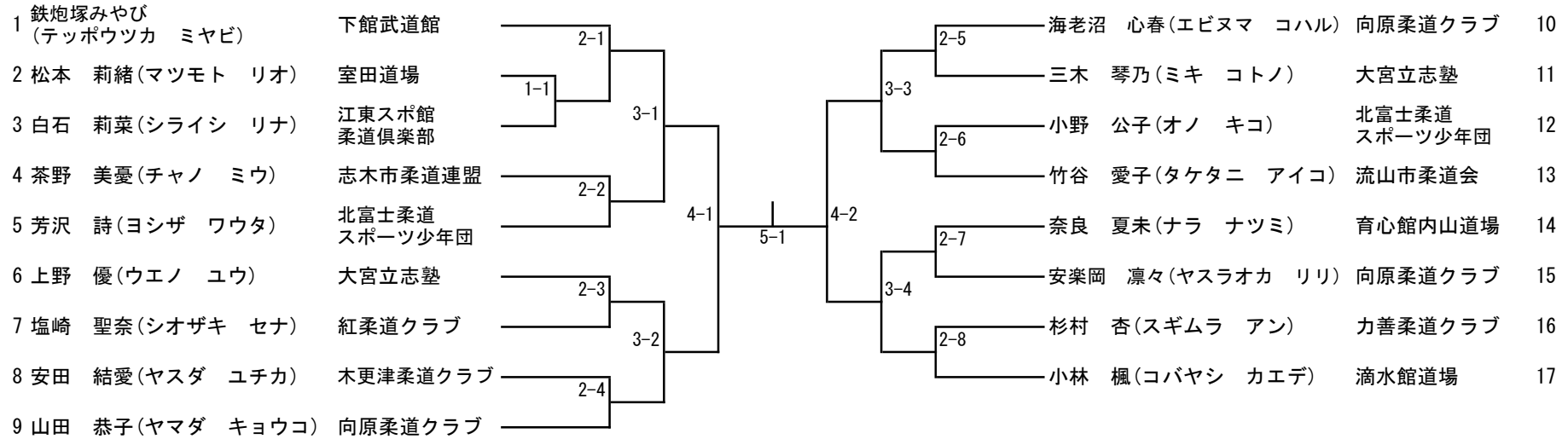
小学5年生男子軽量の部 38kg未満

1	小林 健(コバヤシ タケル)	有明柔道クラブ	2-1	3-1	4-1	5-1	4-2	3-3	2-5	高田 廉(タカダ レン)	室田道場	14
2	草鹿 拓功(クサカ タク)	向原柔道クラブ	1-1						1-6	芝木 佑(シバキ ユウ)	有明柔道クラブ	15
3	堀井 陽太(ホリイ ハルタ)	紅柔道クラブ							1-6	藤木 勝(フジキ マサル)	五十嵐道場	16
4	矢嶋 一翔(ヤジマ カズト)	堅志会	1-2	2-2	4-1	5-1	4-2	3-3	1-7	邊見 結人(ヘンミ ユイト)	上溝柔道教室	17
5	志賀 海樹(シガ カイキ)	北富士柔道 スポーツ少年団										
6	小澤 知明(オザワ トモアキ)	三の丸柔道 スポーツ少年団	1-3						1-8	吉村 陽向(ヨシムラ ヒナタ)	戸田市柔道会	19
7	佐藤 清正(サトウ キヨマサ)	五十嵐道場							1-8	松本 優樹(マツモト ユウキ)	室田道場	20
8	高橋 浩盛(タカハシ コウセイ)	遠藤道場	2-3	3-2	4-1	5-1	4-2	3-4	1-9	石井 侑駆(イシイ タスク)	木更津柔道クラブ	21
9	岩橋 信太朗 (イワハシ シンタロウ)	志木市柔道連盟	1-4									
10	國吉 隆太(クニヨシ リュウタ)	育心館内山道場							1-10	大木 琉夢(オオキ リュウム)	無心塾飯島道場	23
11	小宮 統志(コミヤ トウシ)	室田道場	1-5							平林 麗翔(ヒラバヤシ リト)	一道館田代道場	24
12	川崎 豊輝(カワサキ トヨキ)	戸田市柔道会	2-4						1-11	當麻 天康(トウマ タカヤス)	瑞江柔友会	25
13	山崎 鳳牙(ヤマザキ オウガ)	上溝柔道教室							2-8	南端 健太(ミナミハタ ケンタ)	遠藤道場	26
										島崎 和樹(シマザキ カズキ)	五十嵐道場	27

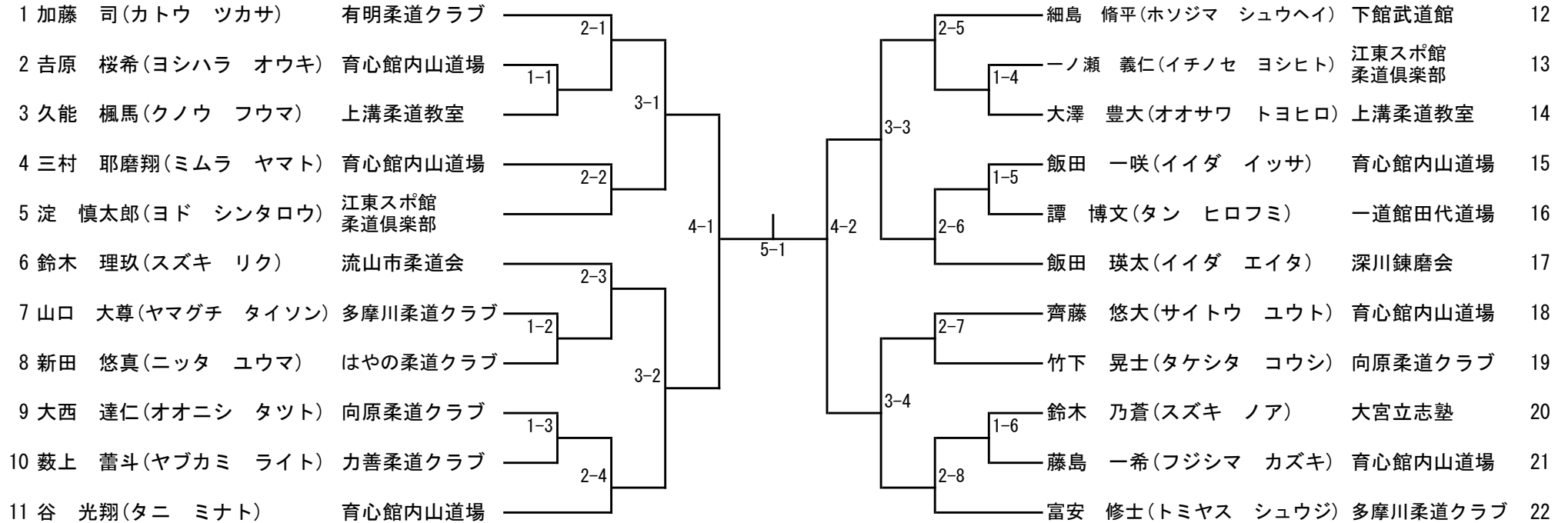
小学5年生男子重量の部 38kg以上



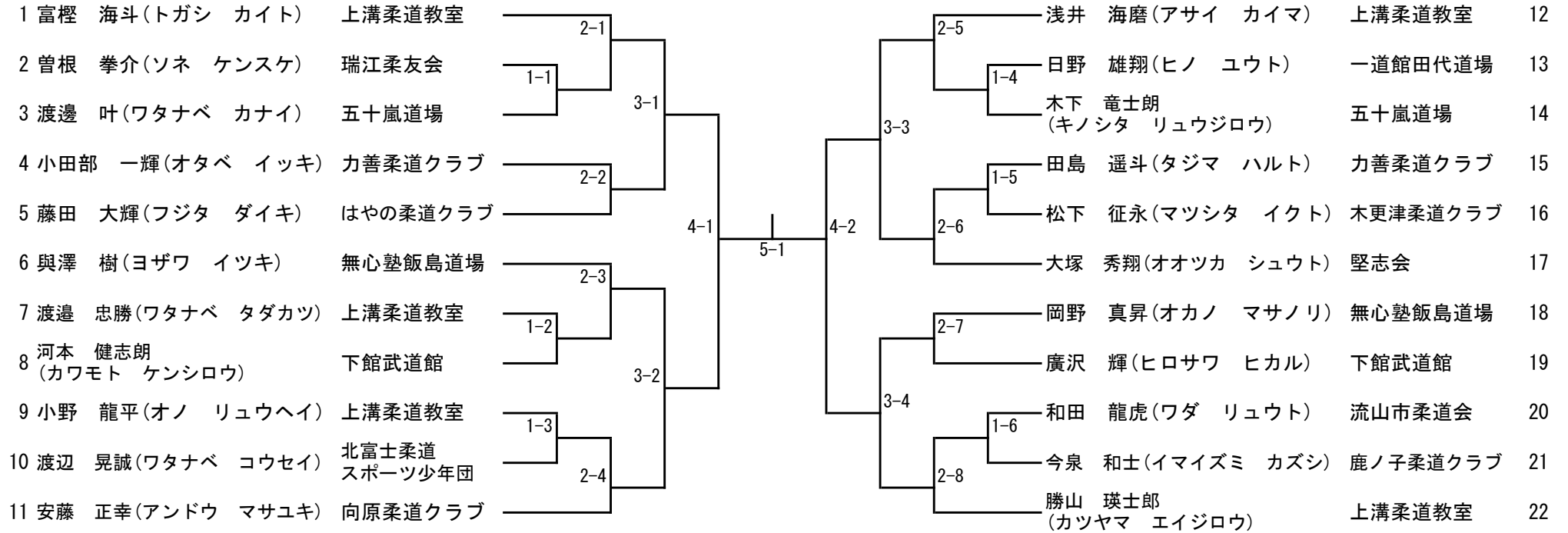
小学6年生女子の部



小学6年生男子軽量の部 46kg未満



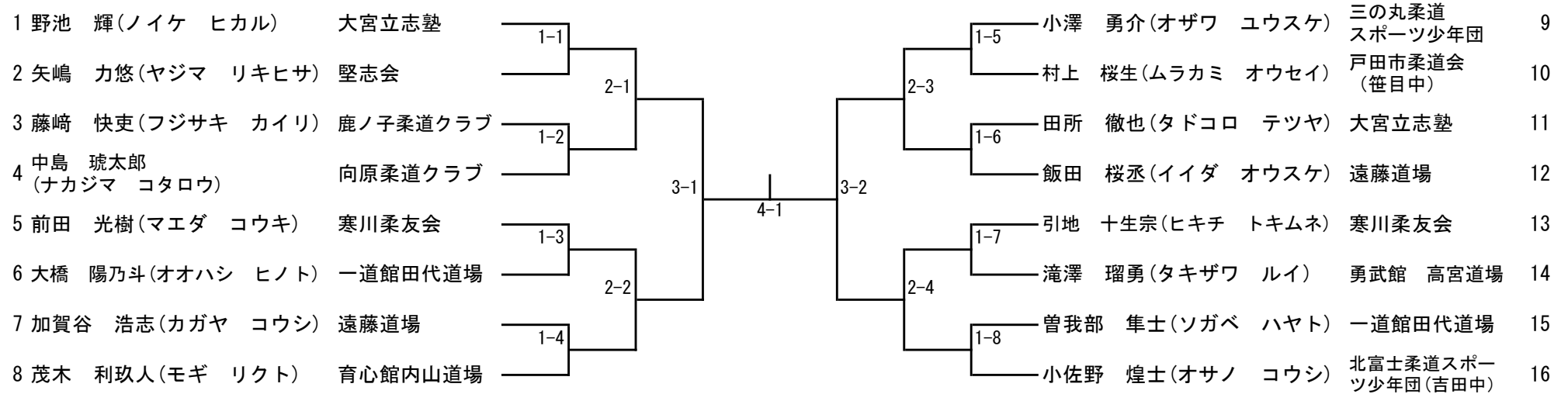
小学6年生男子重量の部 46kg以上



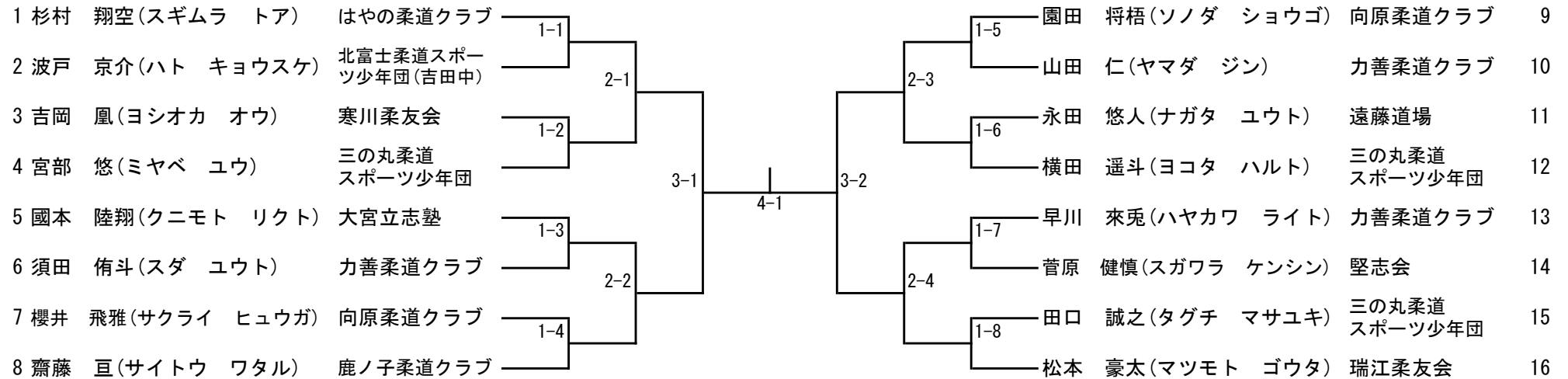
中学生女子の部

1 木藤 結南(キフジ ユイナ)	室田道場								新井 瑚子(アライ ココ)	五十嵐道場	14
2 桑田 紗希(クメタ サキ)	大宮立志塾	1-1							2-5 谷 茉奈美(タニ マナミ)	育心館内山道場	15
3 粕谷 優姫(カスヤ ユウキ)	育心館内山道場								1-6 小宮 桃香(コミヤ モモカ)	室田道場	16
4 西山 真央(ニシヤマ マオ)	滴水館道場	1-2							3-3 小林 周生 (コバヤシ シュウセイ)	一道館田代道場	17
5 林 咲実(ハヤシ サキミ)	育心館内山道場								2-6 高松 薫(タカマツ カオル)	大宮立志塾	18
6 菅原 ゆり(スガワラ ユリ)	力善柔道クラブ	1-3							福島 夕葵(フクシマ ユキ)	滴水館道場	19
7 吉野 ことわ(ヨシノ コトワ)	遠藤道場								4-2 持溝 小晴(モチミゾ コハル)	向原柔道クラブ	20
8 河野 虹恋(カワノ ニコ)	育心館内山道場								2-7 齊藤 奈々(サイトウ ナナ)	育心館内山道場	21
9 柳原 梨緒(ヤナギハラ リオ)	堅志会	1-4							1-8 宮川 真琴(ミヤカワ マコト)	力善柔道クラブ	22
10 新堀 江姫(シンボリ ゴウ)	深川錬磨会								3-4 齊藤 沙樹(サイトウ サキ)	明倫館杉崎道場	23
11 島田 ひかる(シマダ ヒカル)	勇武館 高宮道場	1-5							1-9 上野 愛(ウエノ アイ)	大宮立志塾	24
12 須知 心(スチ ココロ)	力善柔道クラブ								2-8 鈴木 莉代(スズキ リヨ)	流山市柔道会	25
13 村松 みなみ(ムラマツ ミナミ)	戸田市柔道会 (新曾中)										

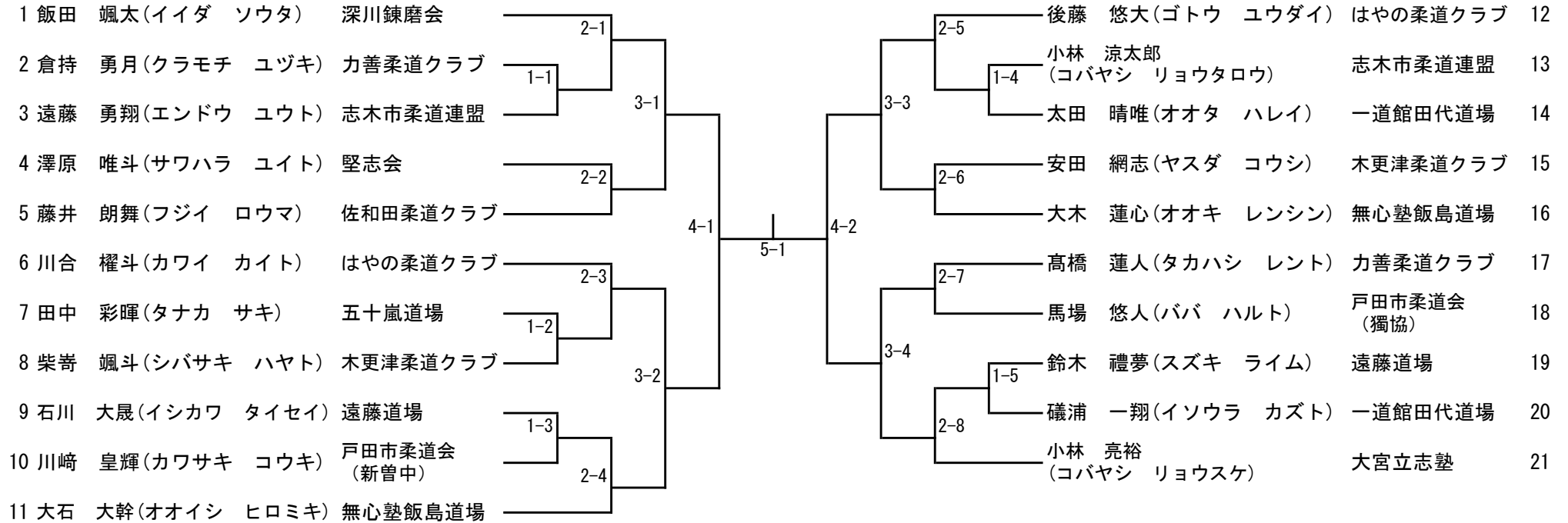
中学1年生男子軽量の部 50kg未満



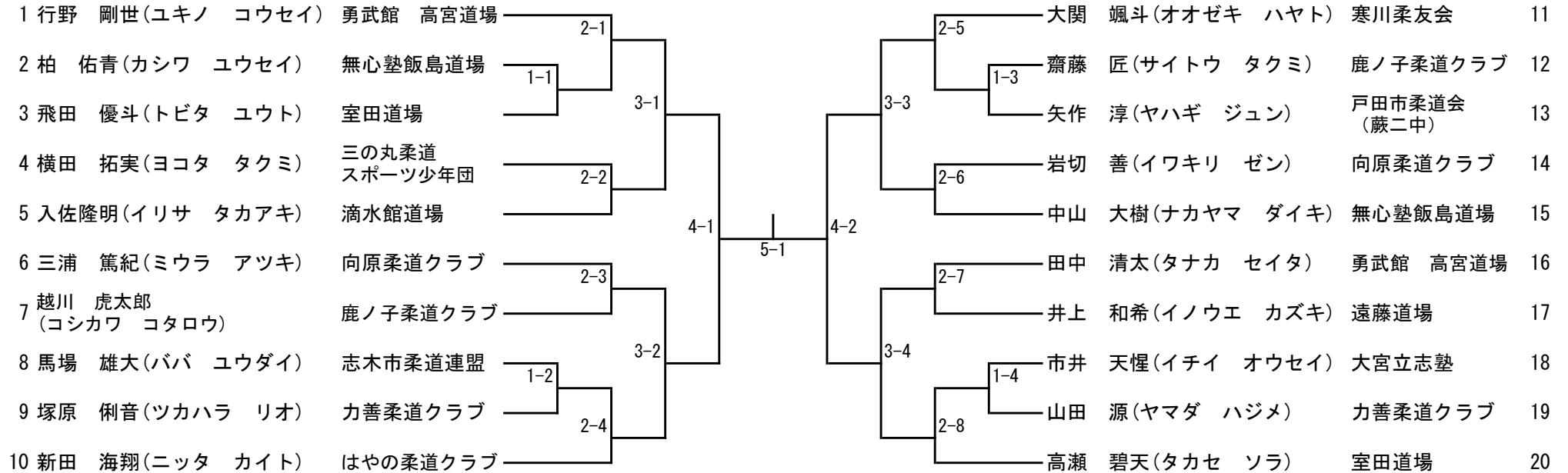
中学1年生男子重量の部 50kg以上



中学2年生男子の部



中学3年生男子の部



一般女子の部

山本 夢(ヤマモト ララ) 北富士柔道スポーツ少年団

対

石井 万絢(イシイ マアヤ) 横浜医療専門学校

試合進行予定表

	第一試合場	第二試合場	第三試合場	第四試合場
9:00	開 会 式 (30)			
9:30				
10:00	道場対抗試合 少年の部 リーグ戦4道場18試合(40) (10:10)	小1男女 14試合(30) (10:00)	小2女子 13試合(30) (10:00)	小2男軽 16試合(35) (10:05)
	小2男重 17試合(40) (10:50)	小3女 12試合(25) (10:25)	小3男軽 20試合(45) (10:45)	小3男重 18試合(40) (10:45)
11:00	小4女 15試合(30) (11:20)	小4男軽 19試合(45) (11:10)	小4男重 21試合(45) (11:30)	小5女 19試合(40) (11:25)
	小5男軽 26試合(60) (12:20)	小5男重 26試合(55) (12:05)	小6女 16試合(35) (12:05)	小6男軽 21試合(45) (12:10)
12:00	道場対抗試合 青年の部 7道場21試合(65) (13:25)	小6男重 21試合(45) (12:50)	中学生女子 24試合(55) (13:00)	中2男 20試合(45) (13:00)
	一般女子 1試合(3) (13:30)	中3男 19試合(40) (13:30)	中1男軽 15試合(30) (13:30)	中1男重 15試合(30) (13:30)
調 整				
14:00	表彰式・閉会式			

- 注)
- 1 棄権する選手のいるチームは、当日の受付時にまとめて届け出てください。
 - 2 各試合場の次3試合までの選手は、所定の待機席で試合に備えてください。
 - 3 試合の呼び出しを受けて、2分以内に試合場に登場しない選手は棄権とします。
 - 4 各部軽重量級のベスト8進出者は、計量を受けて「計量カード」を試合場係に提出してください。
 - 5 進行予定表は目安です。試合場が変更になる場合は放送等で連絡いたします。

番号	道場名	道場主	郵便番号	都道府県	所在地	連絡先
24	瑞江柔友会	山口 正	134-0015	東京都	江戸川区西瑞江4-16	03-3651-9301
19	深川錬磨会	栗本 裕崇	135-0046	東京都	江東区牡丹1-13-2	090-4078-2509
09	有明柔道クラブ	徳安 秀政	135-0063	東京都	江東区有明2-9-1 東京有明医療大学内	090-2671-1102
14	向原柔道クラブ	市島 大二郎	142-0063	東京都	品川区荏原3-6-13 グランドメゾン武蔵小山406	090-2422-7152
31	勇武館 高宮道場	高宮 廣	173-0004	東京都	板橋区板橋2-38-2	03-3962-8976
13	江東スポ館柔道倶楽部	松川 厚史	180-0013	東京都	武蔵野市西久保3-7-14-115	080-2250-8855
20	多摩川柔道クラブ	倉部 豪	182-0023	東京都	調布市染地1-24-18	090-3472-9900
12	一道館田代道場	田代 学	192-0906	東京都	八王子市北野町539-2	042-642-8922 携帯:090-7724-4968
02	堅志会	馬渡 利貴	214-0001	神奈川県	川崎市多摩区菅3丁目10-4	090-3206-2912
10	はやの柔道クラブ	後藤 正和	215-0016	神奈川県	川崎市麻生区早野658	070-4401-8955
22	横浜医療専門学校	岸野 佑宣	221-0056	神奈川県	横浜市神奈川区金港町9-12	045-440-1783
27	鎌倉柔道協会	相田良一 (会長)	251-0011	神奈川県	藤沢市渡内3-8-11	090-8118-0354
05	上溝柔道教室	熊坂 昇	252-0243	神奈川県	相模原市中央区上溝7丁目32番6号	090-2563-0790
15	遠藤道場	福田光春	252-0816	神奈川県	藤沢市遠藤6024	0466-47-6808
06	寒川柔友会	三谷 健	253-0086	神奈川県	茅ヶ崎市浜之郷445-6	090-2224-2370
23	室田道場	室田 次朗	253-0106	神奈川県	寒川町宮山3035-4	0467-75-4326
34	紅柔道クラブ	芳岡 博之	260-0805	千葉県	千葉市中央区宮崎町780-16	090-2560-4807
07	流山市柔道会	水野 利宣 (板倉幸雄道場主代理)	277-0863	千葉県	柏市豊四季508-156 ライオンズ南柏SP209号	090-4539-6908
21	育心館内山道場	内山 勝喜	283-0811	千葉県	東金市台方939	080-5050-0690
29	明倫館杉崎道場	杉崎 彰彦	289-1111	千葉県	八街市大木670-149	090-7227-9155
18	木更津柔道クラブ	新 洋一	292-0016	千葉県	木更津市高砂1-9-21	090-3452-6488
28	力善柔道クラブ	杉村 圭介	306-0041	茨城県	古河市鴻巣728-2	090-3688-3544
32	下館武道館	池内 廣之	308-0041	茨城県	筑西市乙49-3	090-3339-0119
25	三の丸柔道スポーツ少年団	助川悟志	310-0803	茨城県	水戸市城南2-14-30	029-227-3309
33	無心塾飯島道場	飯島 貞夫	310-0912	茨城県	水戸市見川5-317-2	090-8841-7998
26	鹿ノ子柔道クラブ	黒須 隆雄	314-0036	茨城県	鹿嶋市大船津2277	080-5463-8177
08	戸田市柔道会	野呂允伸	333-0844	埼玉県	川口市上青木6-33-20	048-266-7555
01	大宮立志塾	原田 靖也	337-0043	埼玉県	さいたま市見沼区中川132-1	048-607-5821
17	五十嵐道場	新井 邦啓	352-0022	埼玉県	新座市本多1-9-37	080-1031-3026
04	志木市柔道連盟	高橋 敦	353-0007	埼玉県	志木市柏町6-4-40	080-1206-8025
11	滴水館道場	清水正敬	390-0863	長野県	松本市白板1-4-46	090-6534-7754
16	北富士柔道スポーツ少年団	渡辺 直也	401-0320	山梨県	南都留郡鳴沢村1876	090-4754-3194
30	大津柔道協会	大坪 俊裕	520-0831	滋賀県	大津市松原町12-10	090-1139-8614
03	佐和田柔道クラブ	羽藤 光治	952-1209	新潟県	佐渡市千種189-4-303	090-3473-4119

第47回柔道まつり大会 試合結果

部門	優勝	準優勝	第3位	第3位
道場対抗試合 少年の部	一道館田代道場横須賀(神奈川県)	五十嵐道場(埼玉県)	大宮立志塾A(埼玉県)	大宮立志塾B(埼玉県)
小学1年生の部 男女	齋藤 琉之介(育心館 内山道場)	仇 琨然(寒川柔友会)	須知 葵(力善柔道クラブ)	澤原 優陽(堅志会)
小学2年生の部 男女	小林 和史(滴水館道場)	竹島 大智(一道館田代道場横須賀)	平林 麗美(一道館田代道場)	富田 悠仁(はやの柔道クラブ)
小学3年生の部 男子	百武 晟(一道館田代道場横須賀)	富樫 蓮斗(上溝柔道教室)	山口 礼尊(多摩川柔道クラブ)	渡邊 元信(上溝柔道教室)
小学3年生の部 女子	富田 莉央(有明柔道クラブ)	細谷 詩佳(一道館田代道場)	溝内 瑠花(嶺心会)	大澤 奈菜子(上溝柔道教室)
小学4年生の部 男子	湯浅 心月(多摩川柔道クラブ)	大橋 丞真(一道館田代道場)	小林 健(有明柔道クラブ)	溝内 歳風(嶺心会)
小学4年生の部 女子	草鹿 真彩(向原柔道クラブ)	辛島 彩羽(鎌倉柔道協会)	田中 咲羽(五十嵐道場)	田村 遥花(有明柔道クラブ)
小学5年生の部 男子軽量級	猪瀬 翔(多摩川柔道クラブ)	加藤 司(有明柔道クラブ)	富安 修士(多摩川柔道クラブ)	細島 脩平(下館武道館)
小学5年生の部 男子重量級	富樫 海斗(上溝柔道教室)	勝山 瑛士郎(上溝柔道教室)	浅井 海磨(上溝柔道教室)	渡辺 晃誠(北富士柔道スポーツ少年団)
小学5年生の部 女子	葛西 美希(剛柔館藤田道場)	鉄炮塚 みやび(下館武道館)	小林 楓(滴水館道場)	海老沼 心春(向原柔道クラブ)
小学6年生の部 男子軽量級	野池 輝(大宮立志塾)	小佐野 煌士(北富士柔道スポーツ少年団)	山崎 風茉(大津柔道協会)	横江 翔成(大津柔道協会)
小学6年生の部 男子重量級	大坪 素晴(大津柔道協会)	富樫 佑斗(上溝柔道教室)	加藤 玄祐(一道館田代道場横須賀)	杉村 翔空(はやの柔道クラブ)
小学6年生の部 女子	山田 紗椰(一道館田代道場横須賀)	松下 蒔(寒川柔友会)	丸山 ひかり(下館武道館)	持溝 小晴(向原クラブ)
中学1年生の部 男子	飯田 颯太(深川錬磨会)	坂井 湊(一道館田代道場横須賀)	小林 亮裕(大宮立志塾)	新谷 勇氣(悠友館)
中学2年生の部 男子	梅野 幸軌(一道館田代道場横須賀)	松原 永和(一道館田代道場横須賀)	山崎 達哉(一道館田代道場横須賀)	貝瀬 大翔(一道館田代道場横須賀)
中学3年生の部 男子	櫻井 飛鳥(向原柔道クラブ)	薄井 崇介(向原柔道クラブ)	鈴木 望夢(石背柔道スポーツ少年団)	後藤 泰志(はやの柔道クラブ)
中学女子の部 軽量級	伊藤 寧柚(深川錬磨会)	福島 歩実(悠友館)	須知 心(力善柔道クラブ)	上野 愛(大宮立志塾)
中学女子の部 重量級	沖田 結菜(はやの柔道クラブ)	西山 真央(滴水館道場)	中島 夏乃香(向原柔道クラブ)	島田 ひかる(勇武館 高宮道場)

国内における「少年大会特別規程」 **修正箇所を赤字で標記**

国内における少年（中学生以下）の試合は、国際柔道連盟試合審判規程に則って行われるが、安全面を考慮し、次の条項を加えて行なうものとする。

第17条（抑え込み）

附則として次を加える

寝技の攻撃・防御において、脊椎及び脊髄に損傷を及ぼす動作と判断したときは「待て」とする。

第18条 禁止事項と罰則

指導（軽微な違反）

1. 立ち姿勢で相手の後ろ襟、背部又は帯を握ること。
ただし、技を施すため、瞬間的（1, 2秒程度）に握ることを認める。
（注）中学生は、試合者の程度に応じて、後ろ襟を握ることを認める。
2. 両膝を最初から同時に畳について背負投等を施すこと。
3. 関節技及び絞技を用いること。
4. 無理な巻き込み技を施すこと。
5. 相手の頸を抱えて大外刈、払腰などを施すこと。
6. 小学生以下が、裏投を施すこと。
7. 「逆背負投」（通称）の様な技を施すこと。
8. 両袖を持って投げ技を施すこと。

反則負け（重大な違反）

1. 攻撃・防御において、故意に相手の関節を極めること。
- ~~2. 通称「逆背負投」の様な技を施すこと。~~
- ~~3. 両袖を持って投げ技を施すこと。~~

（附則）

指導（軽微な違反）

1. 「相手の後ろ襟、背部又は帯を握ること」関係
 - ①「後ろ襟」とは、柔道衣を正しく着用したときの頸の後ろ側（うなじあたり）の範囲をいう。試合者の一方が後ろ襟を握った後、その襟を引き下げて側頸部にずらした場合でも「後ろ襟」とみなす。
 - ②「背部を握る」の範囲は、目安として肩の中心線に手首がかかるような状態をいう。背部を握った後、柔道衣をたぐりよせて釣り手の一部の指が後ろ襟の内側を握る状態になっても背部とみなす。特例として「後ろ襟、又は背部を握った」状態で、通称ケンケン内股等（内股に限らずケンケンとなる大内刈や大外刈等）をかけることは、〔瞬間的（1, 2秒程度）〕の事項を適用せず、また、その後、連絡した技や変化した技についても、技の効果が途切れるまで継続を認める。
2. 「両膝を最初から同時に畳について背負投等を施すこと。」関係
両膝を最初から畳につくとは、膝の外側部、内側部も含む。同時はもちろん、ほとんど同時と見なされる場合も含む。技が崩れた結果である場合は反則としない。
3. 「関節技及び絞技を用いること。」関係
 - ①寝技の攻撃・防御において、脚を交差して相手を制しているだけの状態は、三角絞とはみなさない。抑え込もうと脚を交差して相手を制止した後、絞まっている状態あるいは脊椎及び脊髄に損傷を及ぼす動作と判断した場合は、受傷を防ぐために、早めに「待て」とする。また、通称「三角固」の体勢となった時点で、危険な状態ではないと判断しても、交差している脚を直ちに解かなければ「待て」とする。交差していた脚を直ちに解けば、寝技の攻撃・防御は継続となる。

②故意ではなかったが、絞技および関節が極まった場合は、「待て」とする。

4. 「無理な巻き込み技を施すこと。」関係

「無理な巻き込み」とは、軸足のバネを利かすことなく、体を利用して倒れ込むようにして巻き込んだ技をいう。技が崩れた結果である場合は反則としない。

5. 「相手の頸を抱えて施す大外刈、払腰などを施すこと。」関係

「相手の頸を抱えて施す大外刈、払腰等」とは、明らかに腕を相手の頸に巻きつけて施した場合のみをいう。

7. 「逆背負投」（通称）の様な技を施すこと。」関係

例えば一方の試合者が右組み、他方の試合者が左組みの体勢から、右組みの試合者が、正しく組んだ釣り手側の前襟を両手で握りながら、右足前回り捌き又は、左足後回り捌きで技を施し、相手を左方向に一回転させながら捻りを加えて、背中、又は頭から投げ落とす様な技をいう。但し、背負投を施して、相手が技を防御するために反対の肩越しに落ちた場合は含まない。

8. 「両袖を持って投げ技を施すこと。」関係

相手の両袖を左右それぞれの手で持ったまま袖釣込腰、大外刈、外巻込等の技を施した場合をいう。但し、相手の片袖を持って、相手に自身の片袖を持たせたまま内股等の技を施した場合は含まない。

~~反則負け（重大な違反）~~

~~2. 「通称「逆背負投」の様な技を施すこと。」関係~~

~~例えば一方の試合者が右組み、他方の試合者が左組みの体勢から、右組みの試合者が、正しく組んだ釣り手側の前襟を両手で握りながら、右足前回り捌き又は、左足後回り捌きで技を施し、相手を左方向に一回転させながら捻りを加えて、背中、又は頭から投げ落とす様な技をいう。但し、背負投を施して、相手が技を防御するために反対の肩越しに落ちた場合は含まない。~~

~~3. 「両袖を持って投げ技を施すこと。」関係~~

~~相手の両袖を左右それぞれの手で持ったまま袖釣込腰、大外刈、外巻込等の技を施した場合をいう。但し、相手の片袖を持って、相手に自身の片袖を持たせたまま内股等の技を施した場合は含まない。~~

改廃

本規程の改廃は、審判委員会において協議し、理事会の承認を得て行う。

付則

この申し合わせは、平成22年5月1日から実施する。

この申し合わせは、平成23年6月14日から部分変更して施行する。

この申し合わせは、平成27年3月31日から改正し、平成27年6月1日から施行する。

この申し合わせは、平成27年11月30日から申し合わせを特別規定として改正し、施行する。

この特別規定は、平成30年3月1日から改正し、平成30年4月1日から施行する。

この特別規定は、令和3年3月15日から特別規程と改正し、施行する。

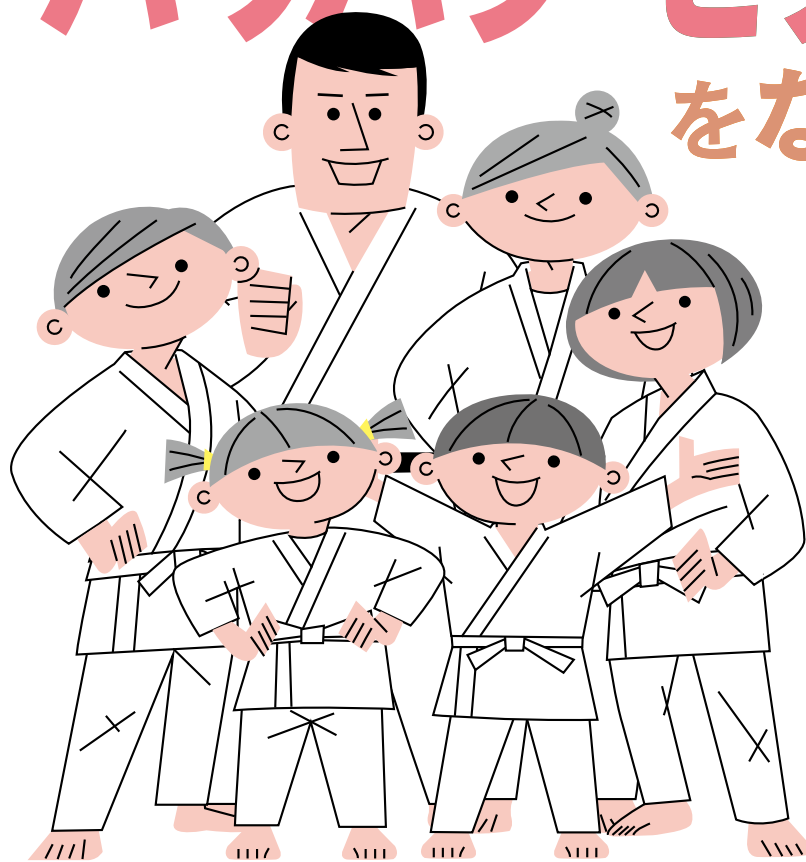
この特別規程は、2022年1月24日から改正し、2022年4月1日から施行する。

この特別規程は、2023年12月8日から改正し、2024年4月1日から施行する。

柔道界から

暴力・パワハラ・セクハラ

をなくそう!



(公益財団法人) 全日本柔道連盟 コンプライアンス委員会

これまでのコンプライアンス委員会活動状況とリーフレット作成の目的

全日本柔道連盟は、2013年8月に「暴力行為根絶宣言」の発出とともに「コンプライアンスホットライン」「目安箱」を制定し、「柔道における暴力の存在は決して許さない」という強い決意のもと、柔道指導者に限らず柔道を行うすべての者に対し、いかなる暴力行為も行わないことを強く求めてきました。加えて、2015年5月に「暴力・体罰・セクハラ問題を学ぶためのガイドブック」を発行し、2018年10月には「柔道界からパワハラをなくそう」リーフレットを発刊、全柔連HP・大会プログラム等に広く掲示し、「暴力・パワハラ・セクハラ」のない柔道界を目指してきました。

しかし、一時は改善の兆しを見せたかに思えた「暴力・パワハラ・セクハラ」問題でしたが、「選手の能力向上のためには指導の中で暴力も必要である」と妄信する指導者や年長者による問題

行為は収まることなく、今日までに多くの「暴力・パワハラ・セクハラ」等事案を処分の対象としてきました。また、表に出て処分の対象になった事案だけでなく、「指導とパワハラの境界線が不鮮明」と捉えてしまい、「指導の一環である」として表面化しない問題事案も多く存在すると言われています。

今回のリーフレットでは、実際に柔道指導に当たっている指導者が持っている「自分の指導は、大丈夫だろうか?」という問いに答えるべく、過去にあった事例を取り上げ、より具体的に、「自分自身にも起こりうること」として考えることができるようにすることを目標にしました。

このリーフレットが、柔道指導者がより良い指導を実現する一助になれば幸いです。

柔道界における

暴力

パワハラ

セクハラ

最近の主な実例

分類

内 容

暴行・傷害を発生させる行為(必要以上に強く投げたり、マイツタしても絞め続ける行為も含む)

Q1 指導の一環であれば、多少殴ったり、けったりしても良いのではないですか？

Q2 体罰は愛のムチであり、選手も親も望んでいます。「勝たせるため」にしているのだから許されますよね？

Q3 生徒の言動に大きな問題(悪ふざけ、いじめ等)がありました。このような場合、体罰も必要ではないですか？

事例1 顧問が練習中、気合いが入っていない部員の顔をプラスチック製バットで殴打し、ケガを負わせた。

事例2 監督が選手の試合に臨む態度、結果が気に入らなると、出場した2名に対して顔を平手打ち、足蹴り、突飛ばす等の暴力行為を行った。

事例3 生徒が絞め技・関節技に弱いことを懸念した指導者が、「自分たちもこの厳しさを乗り越えて強くなった」という信念で、乱取り稽古中に何度も生徒を絞め技で失神させた。



Answer 「暴力行為や暴言、精神的圧迫などで威嚇して、自分の言うことを聞かそうとする行為」は、虐待的行為として社会的に大きな問題とされています。残念ながら、柔道活動の現場では、「性根を叩きなおす」「気合を入れる」「愛のムチ」等の言葉を大義名分に、指導の為には必要なこともあると黙認されることがあります。しかしながら、現代社会において決して許されるものではありません。指導者自らが学ぶことを忘れず、選手との対話を通して、言葉での説明や手本を示すことで指導し、本人の気づきを大切にしながら励まして行くといった指導を心掛けましょう。

脅迫・名誉棄損・侮辱・暴言・ひどい叱責(人格を否定するような言葉、むやみに怒鳴る行為も含む)

Q1 高い目標を達成するためには、集中力が必要です。「気を抜いたり、ミスをすると指導者に叱られる」という緊張感が必要なのではないですか？

Q2 指導者の「熱い思い・情熱」を選手たちに伝える為、あえて怒鳴ったり、厳しい言葉で叱責することは必要なことではないですか？

事例1 ある柔道部顧問は練習態度や試合結果が気に入らなると、「死ぬ」「殺す」「ごみ」などの罵声を繰り返して浴びせた(暴力・体罰を伴う)

事例2 ある選手が、部のルールに違反した。指導者は、「連帯責任」という名目で、同学年の選手全員を寮の外出禁止とし、食事当番や電話当番を強制したため、選手は学生の本分である授業や練習に出ることができなくなった。

事例3 ある指導者は、気に入らない選手が挨拶しても無視し、アドバイスを求めても「お前にはしない」と言い放った。



Answer 当然、相手を侮辱したり、差別発言を繰り返すことは、パワハラとなります。指導者としては、「反発心を力に変える」「気合を入れなおす」「叱咤激励する」といった考えで、あえて大声で怒鳴ったり、汚い言葉を使っているつもりでも、選手は自尊心を傷つけられ精神的に落ち込むことが多いものです。暴言によって生徒や選手が精神的に追い込まれ、自殺に至ったケースもあります。暴言は、ときに人権侵害に結びつくのです。スポーツ指導においては、肯定的な言葉がけや矯正を目的とした言葉がけが重要であるとされています。それはまた、主体的に考え行動できる選手を育てることにつながります。指導者と選手に上下はなく、対等な関係であるという意識を持ち、一般社会で受け入れられる言動を心がけ、互いに気持ちよく活動できる環境をつくりましょう。

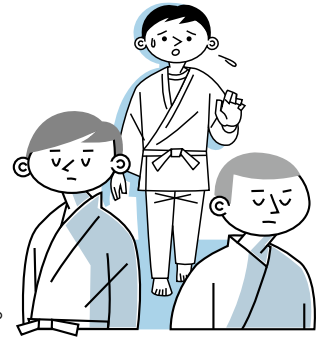
① 身体への攻撃

② 精神的な攻撃

隔離・仲間外し・口をきかない等の行為(無視、練習相手をしない、指導をしない行為も含まれる)

- Q1 生意気で指導者の言うことを聞かない選手には、その行為が皆に迷惑をかけることをわからせるために無視することも必要なのではないですか？
- Q2 部の伝統に逆らったり、集団の輪を乱す部員には、「試合に出さない」「稽古に参加させない」等の罰は、必要なのではないですか？

- 事例1 先生から急な連絡を受けた上級生が、「練習に遅刻を繰り返す」「指示されたことを守らない」下級生にだけわざと、練習場所や時間の変更を伝えなかった。
- 事例2 ある指導者が選手に対し、「俺の前でよく柔道ができるな」「あんな身勝手な奴とは稽古するな」等の理不尽な発言を繰り返し、稽古をさせなかった為、選手は孤立した。

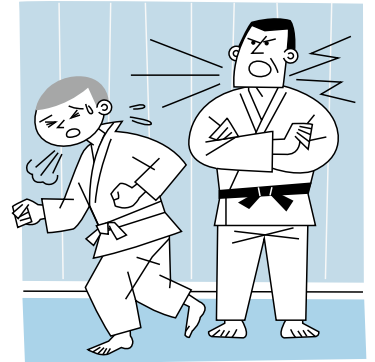


Answer 指導者の方針に従わない選手に対して、「無視」「稽古に参加させない」「試合に出さない」等によって、集団から孤立させる行為は、パワハラとなります。これが、「いじめ」等に発展し、退部や転校等につながれば社会的問題にもなりかねません。上下関係による「強制と服従」での指導は、選手が自発的に柔道を楽しむ権利を奪い、「選手自らが考え工夫する力」を育むことを阻害してしまいます。指導者は、「自分が一番正しいという妄想」を改め、他の人の意見にも耳を傾け、常に学び続ける姿勢を持ちましょう。

明らかに不要なことや実行不可能なことを要求すること(合理的な理由のない過度な練習も含む)

- Q1 ある選手が手を抜いた稽古をしたので、罰として猛暑の道場で倒れこむまで打込みをさせました。気合を入れる為には、問題ないですよね？
- Q2 勝敗を決めるのは、最後は精神力です。最後に勝てる強い選手を育てる為、限界を超えるくらいの練習をさせることは、問題ないですよね？

- 事例1 ある指導者は、試合で負けると、人が変わったように不機嫌になり、次の練習時に、腕立て伏せ千回、スクワット千回、打ち込み千回等の、過度な練習をさせるので、生徒や保護者は怪我をしないかとても不安だが、怖くて言いだせない。
- 事例2 ある指導者は、なかなか技の要領を覚えられない生徒に対して「あんなに柔道の稽古ができないやつは、グラウンドでも走っている」とつきはなし、その後3時間もランニングを続けさせた。夏の暑い日で、あやうく熱中症になるところだった。

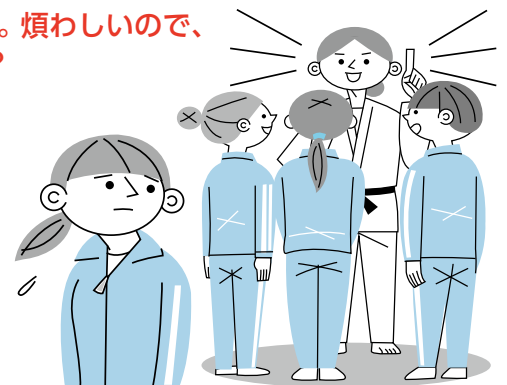


Answer ただ単に「精神力を高める」「根性をつける」等のために、厳しい稽古・長時間の練習を強いることは、パワハラというべきレベルだと考えられます。「過度の練習がスポーツ障害・外傷のリスクを高めること」をよく理解し、「柔道の特性等を踏まえた科学的指導法」を学んだ上で、個人差等にも配慮して練習メニューを設定しましょう。指導者は最新の指導法を学び、選手が競技として柔道をしている間だけでなく、競技を終えた後も「生涯柔道」を楽しむことができるような指導を心掛けましょう。

合理的な理由なく、程度の低いことをさせる、活動をさせない等の行為(1人だけ別メニューも含む)

- Q1 指導方針にいちいち異を唱える選手に対し、「私の方針に反対なら、何もするな」と言い、見取り稽古だけにしました。問題ないですよね？
- Q2 ちょっとしたことでもケガをしたといってくる選手がいます。煩わしいので、「元立ち」や「投込み」はさせません。問題ないですよね？

- 事例1 ある柔道部では、選手の練習にのぞむ態度が少しでも気に入らないと、「もう何もなくていい」「道場の隅で正座でもしてる」「帰れ」「道場の外に出て入ってくるな」と冷たく言い放つ為、練習の雰囲気が悪くなり、みんな徐々にやる気を失っている。
- 事例2 ある指導者は、指導に従わない道場生に対し、みんなが見ている前で「俺の言うことが聞けないなら、道場から出ていけ」と追いついたきり、その後何のフォローもしなかった。



Answer 合理的な理由なく、「仲間とは違う程度の低いメニューを行わせる」「活動をさせない」等の行為は、「いじめ」「仲間外れ」に類する行為でパワハラとなります。また、「人間関係からの切り離し」に近い性質も持っています。どうしても、ある選手だけを別メニューにする必要がある時は、「どうして、その選手だけが違う練習をしなければならないのか」、その理由を本人だけでなく仲間にも丁寧に説明し、全体が納得した上で行うようにしましょう。

私的事項に過度に立ち入ること。家族関係・恋人の有無・休日の予定等、私的領域に踏み込む行為

⑥ プライバシーの侵害

- Q1 選手の生活を正しく管理することは、指導者の大事な役割です。プライベートなこともすべて知っておく必要があるのではないですか？
- Q2 試合で結果が出ない選手に対して、柔道の邪魔になる「男女交際」をやめるように言いました。問題ないですよね？

- 事例1 ある先輩が、柔道部の上下関係を利用して、新入生のプライバシー（恋人、家族関係など）に立ち入ってきて、いろいろなことを言うので後輩たちは皆まいている。
- 事例2 ある指導者は、必ず親の職業を聞きだし、職によっては自分に便宜を図るように仕向けさせるので評判が悪い。



Answer 上司と部下、教師と生徒、先輩と後輩、指導者と教え子等の関係性において、「私的事項に過度に立ち入る」といったことが起こることがあります。柔道の指導とは全く関係がないのに、立場を利用して、家族関係、恋愛関係、休日の予定等のプライベートなことについて詮索することは、ハラスメントとなります（その行為が、男女関係に発展させることを意図したものであればセクハラ）。また、個人情報を相手の許可なく漏洩することは違法な行為となる場合があります。「立場を利用して、無意識にプライベートを詮索していることもある」ということを意識して行動しましょう。

当事者の意に反した性的な性質の言動を行うこと。それによって一定の不利益を与えたり、活動環境を悪化させること

⑦ セクシャルハラスメント

- Q1 「胸が大きいな」「ケツでかいな」等は、単なる冗談の一つです。大丈夫ですよね？
- Q2 女子選手は、生理の関係で調子に影響が出ます。選手の生理について把握し、状況を知る為に、常に質問しても問題ないですよね？
- Q3 選手とマッサージしながら会話することで、体調管理を行なうとともにコミュニケーションをとっています。異性ですが、問題ないですよね？

- 事例1 ある指導者が教え子に対し、寮や合宿中に「わいせつ行為」を繰り返した。
- 事例2 Tシャツの上から胸をじろじろ見てきて、「下着が透けてるぞ」などと言ってくる。
- 事例3 寝技などの練習中、不必要にお尻や胸を触ってくる。
- 事例4 試合中、柔道衣が汗で濡れて透けていたり、Tシャツの首の部分が伸びている時を狙って写真を撮ってくる。



Answer セクハラとは、「相手を不快にする、性的な言動」のことです。その行為が性別や意図的であるなしに関わらず、被害者や周りの人にとって不快なものであれば、セクハラとなります。柔道界では、時に指導者が選手に対して「絶対的権力」を有している状況が見られます。その関係性から、寮生活、合宿や遠征等で多くの時間と空間を共有する中、指導を口実とした身体接触（稽古中不必要に尻や胸を触る/無資格者によるマッサージや、密室の空間に2人きりになる等）が当然のこのように行われている現状があるのです。柔道にたずさわる人々が、安全に楽しく活動できるように、「柔道界においてセクハラは絶対に許さない」という強い姿勢を社会に示していきましょう。

- 事例1 生徒間の暴力・指導者の黙認** - 校内、道場、寮で上級生から下級生へ殴る、蹴る等の暴力や恐喝行為が繰り返されていた。
- 事例2 パワハラ・体罰が行われている場に居ながら、制止せず傍観** - 問題行動があった生徒に対し、ある指導者が、稽古中に「叩きつけるような投げ方」「故意に絞め落とし気を失ったところをビンタ」等を行った。副顧問も稽古に参加していたが、制止せず傍観していた。
- 事例3 指導者の指示による学生間の暴力** - ある大学指導者が先輩部員に対し、遅刻するなど生活態度が悪い部員を厳しく指導しろと指示した。先輩部員は、練習でしごき（殴る、蹴る、絞め落とす等）、私生活でも暴力が常態化した。
- 事例4 柔道関係者の私的交流におけるトラブル** - 県の柔道行事のあと飲食、二次会で行きつけのスナックに行った。Aが言葉遣いを叱責したところ、Bが従わず口論となり、Bが首筋を掴みかかる等の行動に出て、Aも相手の顔面を殴る等の暴力を加えた。



Answer 「あらゆる暴力やハラスメントは、しない・させない・許さない」という強い意識を常に持って指導に当たることが大切です。自身が気を付けるだけでなく、コンプライアンスに問題のある行動を見かけたら、黙認や隠ぺいをせず改善に向けた適切な行動をしましょう。指導者・選手・関係者全員が、「暴力や暴言は許されない」ということをしっかりと認識し、自由に意見を言い合うことのできる組織、チーム・環境を作ることを心掛けましょう。

ご相談窓口

全日本柔道連盟ホームページ(<https://judo.or.jp>)から「全柔連について」→「ご相談の窓口」へ進んでください。

都道府県柔道連盟(協会)

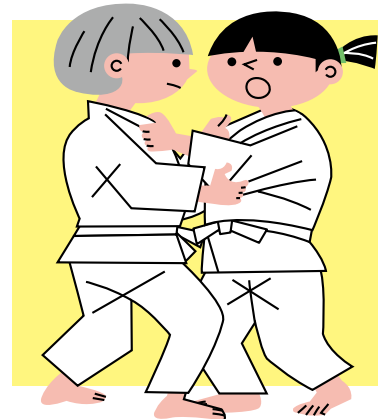
都道府県柔道連盟に関することは、都道府県窓口担当者にご相談ください。

全日本柔道連盟「柔道目安箱」

- 対象者**：どなたでもご利用できますが、内容によって、全日本柔道連盟が対応する場合と都道府県柔道連盟が対応する場合があります。
- 受付方法**：封書またはメール
※全柔連HPの「ご相談の窓口」から「柔道目安箱」を選択し、「投稿フォーム」に記入してご送付ください。
(メールの場合、担当者からの返信を受信可能な状態にしてください)
- 郵送先**：〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30 全日本柔道連盟 倫理推進室「柔道目安箱」係
- メール送付先**：rinri@judo.or.jp

全日本柔道連盟「内部通報制度(コンプライアンスホットライン)」

- 対象者**：全柔連登録会員、全柔連及び加盟団体の役職員
- 受付方法**：封書またはメール
※全柔連HPの「ご相談の窓口」から内部通報制度(コンプライアンスホットライン)を選択し、「受付表」に記入してご送付ください。窓口は2ヶ所あります。(メールの場合、担当者からの返信を受信可能な状態にしてください)
- 郵送先**：〒105-0003 東京都港区西新橋 1-21-8 弁護士ビル 807号
あたらし橋法律事務所 赤堀文信弁護士気付 全柔連コンプライアンスホットライン
- メール送付先**：akahori@atarashibashi.com
- 郵送先**：〒107-0052 東京都港区赤坂 7-5-7 赤坂光陽ビル 5階
山田・尾崎法律事務所 山田奈美香弁護士気付 全柔連コンプライアンスホットライン
- メール送付先**：n.yamada@yamada-ozaki.com



「暴力・パワハラ・セクハラ」を起こさないために

1. 勝負がすべてではありません

柔道には、負けて学ぶことも多くあります。「勝敗」以外にも大事なものがあつことを認識し、勝利至上主義に陥らないようにしましょう

2. 加害者も、被害者も不幸になります

「暴力・パワハラ・セクハラ」は、被害者だけでなく、加害者にとつても不幸をもたらすことを自覚し、思わず手が出そうになったり、暴言を吐きそうになったときには、自分を抑える忍耐力、コントロールする能力を持ちましょう。他者を支配できると思つてはいけません

3. プレーヤーの自発性を引き出すコーチング

プレーヤーの気づきを促して、自ら考え、工夫することを通して成長へと導いていく指導を基本としましょう

4. 学び続ける姿勢を持つ

コーチングに関する最新の情報を手に入れ、プレーヤーに新しい技術や知識などを的確にアドバイスできるよう、指導者自らが常に学び続ける姿勢を持ちましょう



実践! グッドコーチング
～暴力・パワハラのないスポーツ指導を目指して～
PHP 研究所

柔道 MIND 活動のねらいを、今一度考えてみましょう

相手への尊敬、信頼を示すものが礼法であり、他人に依存していることを自覚するのが真の「自立」です。それにより相手への感謝、尊敬の念が生じ「礼節」となります。さらに、「M 礼節」と「I 自立」の相互作用により正々堂々とした「N 高潔」さが示され、自ずと信頼が寄せられるようになり「D 品格」が完成されます。木を成長させていくことで、この相乗成長する過程をデザインして、柔道 MIND をわかりやすく表現いたしました。



嘉納治五郎師範は、「世の中の為に有為な人間を育成する教育理念」を最も重視しました。師範は、柔道を学ぶ者が到達すべき最高の目標として、

「精力善用」(善を目的に心身の力を最も有効に使用すること)

「自他共栄」(自分と他人との調和をはかり、お互いが繁栄して行くようにすること)

という言葉を残されました。この2つの言葉の意味をしっかりと理解するとともに、日々鍛錬し技を磨く中で、心の修養に努め、「自己を完成し、世の中の役に立つ人になる」という究極の目的に向かって努力して行くことが最も大切なことです。柔道修行は、人として正しく成長する為に有用であるばかりでなく、望ましい社会を作り出すことにも大きく貢献できる要素を持っています。

